

2004年10月15日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治
 コード番号 8233

2004年9月度 高島屋営業報告

- * 本年6月1日をもって、立川店レストン街の運営を東神開発(株)に移管しました。
- * 立川店の前年数値を調整し、分社化した4店の売上を含めた全18店計前年対比を**実質**数値として表記しております。

百貨店事業概況 本年 -9.8 **実質** -2.6 (前年比%)

月初は残暑の影響により秋物衣料の動き鈍く、気温の下がった中旬以降に回復の兆しを見せたが、月末の台風襲来により入店客数も伸びず失速、18店計実質前年比は-2.6%と前年を下回った。特に、関西地区では2度に渡る台風直撃の影響が大きく、また、前年実施の阪神タイガースの反動や大阪店における改装工事の影響もみられた。

| 店舗別概況 | | | | | | | 関西計 | |
|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|
| 関西 | 大阪店 | 京都店 | 泉北店 | 岡山高島屋 | 岐阜高島屋 | 米子高島屋 | 本年 | 実質 |
| 売上 | -3.7 | -5.4 | -1.0 | -6.7 | -7.4 | -13.2 | -17.1 | -4.8 |
| 入店客数 | -8.6 | -10.3 | -5.1 | 3.3 | -10.1 | -18.2 | | |

* 大阪店には和歌山店・堺店、京都店には洛西店の売上を含む

| 店舗別概況 | | | | | | | | 関東計 | | |
|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|
| 関東 | 東京店 | 横浜店 | 新宿店 | 玉川店 | 立川店 | 大宮店 | 柏店 | 高崎高島屋 | 本年 | 実質 |
| 売上 | 1.3 | -3.0 | -0.9 | 12.1 | -9.4 | -11.8 | -6.6 | 3.7 | -5.0 | -1.1 |
| 入店客数 | 5.5 | 0.0 | 0.9 | -7.6 | 4.7 | -10.0 | -0.1 | 3.8 | | |

* 横浜店には港南台店の売上を含む

* 立川店:実質-6.0%

<店舗別> 9/4(土)よりリニューアルオープンした高崎店では、新規オープンのブランドが牽引し、化粧品(+25%)、特選衣料雑貨(+650.7%)が好調に推移した。また、9/15(水)リニューアルオープンした岡山高島屋でも、化粧品や婦人服でオープンのブランド「エホカ」や「ブル・ガル」が牽引し、婦人雑貨・婦人服ともに常備前年比+20%増で推移した。その他、引続き東京店や玉川店が前年を上回り、新宿店は、秋物商材に動きが見られたが前年には及ばず、その他店舗は前年を下回った。

| 広域事業概況 | 法人 | 通販 | 広域計 |
|--------|-----|------|-----|
| | 7.9 | -8.2 | 0.3 |

<広域事業> 法人事業は、新規物件の受注増により前年を上回った。一方、通信販売事業は、カクク秋号(8/25発行)においてファッション品を強化、婦人服は(前年比+10%)売上を伸ばしたが、紳士服、婦人雑貨が苦戦、リビングのページ調整によるマイナスもあり前年を下回った。

| 総計 | 本年 | 実質 |
|----|------|------|
| | -9.1 | -2.4 |

商品別概況 (百貨店協会商品区分)

| | 本年 | 実質 | | 本年 | 実質 | | 本年 | 実質 |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|------|
| 紳士服・用品 | -11.0 | -4.2 | 身のまわり品 | -3.6 | 2.9 | 食料品 | -8.2 | -1.6 |
| 婦人服・用品 | -13.3 | -5.6 | | | | 食堂・喫茶 | -10.8 | -1.3 |
| 子供服・用品 | -17.0 | -10.9 | 家具 | -8.6 | -4.4 | 雑貨 | -4.5 | 2.0 |
| その他衣料品 | -16.1 | -7.5 | 家電 | 10.9 | 13.7 | サービス | 12.7 | 12.6 |
| 衣料品計 | -13.5 | -6.0 | その他 | -14.8 | -10.6 | その他 | -14.2 | -9.6 |
| | | | 家庭用品計 | -11.9 | -7.8 | 合計 | -9.1 | -2.4 |

<店頭商品別> 東京店、玉川店、高崎店が牽引した特選衣料雑貨(前年比+8.4%)、旅行洋品(同+12.4%)が売上を伸ばした紳士雑貨(同+0.2%)、東京店における催がそれぞれ好調だった美術(同+0.5%)、呉服(同+3.9%)が前年を上回ったが、婦人雑貨(同-0.7%)、食料品(同-0.6%)は前年には及ばず、婦人服(同-6.0%)、紳士服(同-3.7%)、リビング・子供(同-10.5%)、リビング(同-9.3%)も前年を下回った。